



千地申7号

「ATOS化千葉延伸による運行管理システム化に伴う体制の見直し」に関する団体交渉を行う！その②



5. 千葉駅ホーム業務の体制を明らかにするとともに、変更となる業務については不安が無くなるまで教育を行うこと。なお、出発時機表示器はホーム担当の意見を聞き、見やすい位置に設置すること。

【回答】業務に必要な教育は実施していく考えである。なお、必要な設備については、整備していく考えである。

【議論内容】

- ホーム担当の業務は、ATOS化以降も基本的に現行通りである。
- 異常時等で抑止になった場合のホーム担当への連絡については、整理担当からホーム担当に連絡を行う。それに伴い駅長事務室に表示器を置く予定である。
- 早期運転再開のためにホーム事務室にも出発時機表示器の設置という意見に関して、会社としても検討する余地があると考えている。

6. 現場で行われた説明会の内容が不十分のため、組合員の不安が払拭するまで丁寧に説明を行うこと

【回答】業務に必要な教育・訓練については実施していく考えである。

施策について分からないことをしっかりと解消していくことを確認！

【議論内容】

- 社員説明会を今後行う予定はないが、分からないことをしっかりと解消していく。
- 必要な教育とは、作業ダイヤが変更になるのでそれに伴う教育のことである。見張員の教育もしっかり行う。

7. 施策実施により社員の異動・担務変更が発生する場合は、本人希望を十分に把握し、一人ひとりの特情等も考慮して丁寧に行うこと。

【回答】社員の異動については、任用の基準に則り取り扱っているところであり、社員の希望等については個人面談等で前広に把握しているところである。

面談で希望を把握し、希望を考慮して対応していくことを確認！

【議論内容】

- これまで安全・安定輸送を担ってきた信号所社員への労いの考え方はある。引き続き様々な箇所で、他の社員の教育を行ってほしい。
- 面談にて一人ひとりの希望や、育児介護等の特情は把握している。そこを含めて対応していくが、希望どおり行かない場合もある。

8. 設備や教育体制を十分に整えた上で施策実施すること。なお、実施日以降も労使で検証し、業務に問題や変更点が生じた場合は労使で協議すること。

【回答】これまでも必要な職場環境の整備は実施しており、今後も実施していく考えである。

なお、具体的な提起がある場合は「労使間の取扱いに関する協約（平成30年10月1日締結）」に則り取り扱っていく考えである。

必要な設備や教育体制を整えて施策を実施することを確認！

【議論内容】

- 職場環境の整備としては、ATOS導入に伴い出発時機表示器等を整備する。その他にはない。
- 信号所の跡地の今後の計画については、検討中だが話は進んでいない。
- 指令の体制については、千葉エリア担当として4徹の体制になる予定で、要員はプラス4人の見込みである。

**今後、会社回答どおりに施策が行われるのか職場と共に検証していきます！
「安全・健康・ゆとり・働きがい」のある輸送職場を創りましょう！**